

申9号

旅客転落事故の救助方法に関する緊急申し入れ

11月26日渋谷駅で山手線外回り電車がホーム進入の際、ホーム上から旅客が転落する事象が発生しました。今回の事象も車両を押して旅客救出を試みています。

車両を押して救助する方法は、7月22日に南浦和駅で車両とホームの間に挟まれた旅客を救出するために乗客と駅社員がおこない、「美談」として報道されました。しかし、車両を押した反動により負傷者が圧迫され、最悪の場合は死に至る危険性をはらんでおり、誤った救助方法です。

救助は「安全」が確保され、人命が第一に考えられることが大前提です。そして誤った救助方法を正すために団体交渉をおこないます。



1. ホーム上からの転落事故等発生時、車両を押すなどして負傷者を救出する行為は、二次災害の危険性が高いため行わないこと。また、当該車両が在線状態のまま救助が困難な場合は、レスキュー隊へ救助要請をおこない、人命を第一にした救助体制を確立すること。

2. 車両を押して救助することによる危険性を全社員に対して徹底すること。また、二次災害を防止するために、誤った取扱いであることを対外的に発表すること。



**早期運転再開よりも安全・人命が第一！
同じ事象を繰り返さないように議論します！**